

# 三豊市国際交流協会から アンニョンハセヨ

今月から三豊市国際交流協会の国際交流員が、自国の歴史や文化、友好都市の情報などをシリーズで紹介します。  
4月は韓国の崔 榮晋さんです。



## 韓国の家族とお正月

日本では初対面の人、特に女性に年齢を聞くことは失礼なことだと言われたりしますが、韓国の人は、初めて会う人に年齢を聞く習慣があります。なぜなら、韓国では自分より1歳でも年上の人には敬語で話すのが礼儀だからです。また、先生に対しては、いくら歳が下であっても敬語を使います。

古くから韓国では、儒教の精神に基づいてお年寄りや目上の人を大切にしています。中でも家族は特別です。

最近の韓流ブームの影響もあり、日本でも韓国の文化に触れる機会が年々増えています。私も韓国に関するいろいろな質問を受けるようになりましたが、特に多いのが「韓国の人は家族の誕生日によく集まりますが、それは何か理由があるのですか？」という質問です。

韓国では家族はもちろん、友達や何かの記念日にもよく集まってお祝いします。核家族化が進んでいる韓国でも、親の誕生日を祝うのは大きな年間行事のひとつになりました。親の誕生日が近い週末には、家族が集まり食卓を囲んでお祝いをします。これにちなんで、家族のことを「食口(シック)」ともいいます。

韓国では、家族がみんな集まりお祝いする旧暦の元日を「正月(ソル)」といい、西暦は「新正(シンジョン)」といいます。今年のソルは2月18日でした。

旧暦の大晦日には家族の一人ひとりがこの1年間の出来事や新年の抱負などを述べ、話し合います。そして「ユンノリ：日本のすごろくと似ている伝統ゲーム」などをして夜を明かします。

元日の朝は、初日の出を見たり初詣をする日本とは違い、まずは先祖に「茶礼(チャーレ)」という礼拝をし、その次にお祖父さん、お祖母さん、お父さん、お母さんの順に新年のあいさつ「セベ」をします。このときは親戚だけではなく、地域の人たちにも欠かさずあいさつをします。昔は、2週間ほど行っていたようですが、今は3日～5日間くらいです。ここで楽しみなのは、セベの後の「得談(トクダン)：目上の人からの励ましの言葉」と「セベドン：お年玉」ですね。

朝食の後は、お墓参りに行きます。その後はあいさつ回りや同窓会など、新年を祝ってまちがにぎわいます。

こうして人情にあふれ人と人の繋がりを大切に、新しい1年が始まります。

(財)三豊市国際交流協会 72-1192

<http://www.main.or.jp/mitoyo/>

先日、わが子の通う小学校の校内マラソン大会を見に行きました。お家の方もたくさん来ており、一緒に声援を送りました。日頃の練習の成果を出し切り、力いっぱい走っている子どもたちの姿はたいへんすばらしかったです。そうしたがんばりを新学年でも発揮してほしいと思います。

4月は新しい年度の始まりです。子どもたちは新しい学校・学級・職場と環境が大きく変わります。希望とともに不安や悩みを持つと思います。それらを解消するために、次のようなことを家庭で話し合っておいてあげてください。

● 出合いを大切にすること  
いろいろな人と出合い、交流を深めるといことは人を成長させます。

● たくさんのお出合いを経験していきと思えます。その中で、いろいろな人の個性

**少年育成センター**

一般用	72-5039
FAX	72-5497
少年相談	72-5024

を認め仲良くなつていくことによって、自分自身が成長していくことを教えてあげてください。

● 学ぼうとする意欲を大切にすること  
新しい環境では、知らないことばかりだと思えます。学校の勉強も含め、知識を得るということはその人を成長させます。

● いろいろな知識を学んでいくと思えますが、その知識を理解して上手に活用できるようになりたいものです。そのためには、教えてくれることに素直に耳を傾け、たくさん知識を自分から学ぼうとする意欲を常に持つておくことが大切であるということをお教えしてあげてください。

● 心と体を鍛えること  
心と体を鍛えることは、心と体を鍛えることはその人を成長させます。

● 学校では部活動にできるだけ参加しましょう。職場でも時間を見つけて体を動かしましょう。ウォーキングやジョギングだけでもストレッチや心身のリフレッシュになります。心と体を鍛えることの大切さを教えてあげてください。

# 広告募集

三豊市ホームページに  
バナー広告を掲載しませんか？

新たな財源を確保し、市民サービスの向上と地域経済の活性化を図るため、ホームページにバナー広告を掲載することになりました。掲載にあたっては、市が定める広告事業実施要綱、実施基準などで審査を行います。

詳しくは、情報政策課または三豊市ホームページでご確認ください。

<http://www.city.mitoyo.lg.jp/>

掲載箇所	トップページ(枠の位置は市が指定する)
枠数	4枠程度
規格	縦70×横200(ピクセル) 容量8キロバイト以内 JPEG、GIF形式(アニメ可) 閲覧者に負担のかからない動きとすること
掲載期間	1カ月単位 (原則1日から末日まで、各年度で最長12カ月)
申し込み期限	掲載月の前月の5日
掲載料	1枠15,000円/月

問い合わせ 情報政策課 62-1117

# はかりの定期検査を受けましょう

2年に1回のはかりの定期検査を下記の日程により行います。

取り引きや証明にはかりを使用する方は、計量法により2年ごとに定期検査を受検することが義務付けられていますので、お近くの会場で必ず受検してください。

平成19年度三豊市特定計量器定期検査日程表

検査区域	日時	場所
豊中町	4月10日(火) 11日(水)	10:00~15:00 豊中町農村環境改善センター
詫間町	12日(木) 13日(金) 16日(月)	10:00~15:00 詫間支所
	17日(火)	11:00~12:00 詫間支所粟島出張所
仁尾町	18日(水) 19日(木)	10:00~15:00 仁尾町体育センター
三野町	20日(金)	10:00~15:00 三野支所
山本町	5月7日(月)	10:00~15:00 山本町農村環境改善センター
財田町	8日(火)	10:00~15:00 財田支所
高瀬町	9日(水) 10日(木)	10:00~15:00 高瀬町農村環境改善センター
三豊市全域	17日(木)	10:00~12:00 豊中町農村環境改善センター

平成18年度から手数料の額が改定されましたのでご注意ください。

問い合わせ 香川県計量検定所 087(881)2517  
商工観光課 62-1129

シリーズ  
No.10

## なんなん? 食育

### 詫間小学校

詫間小学校では、詫間幼稚園・詫間小学校の約620食の給食を提供しています。

本校は、単独校方式のよさを生かし、個を見つめた学校給食に取り組んでいます。

食育の取り組みとしては、毎年、希望者を対象に『親子料理教室』を行っています。今年度は、香川県の郷土料理であるうどんづくりを体験しました。参加者からは「分量をきちんと量っておけば思ったより簡単にできた」「家でも作ってみたい」という感想をいただきました。このように、親子での活動を通して郷土料理に触れ、郷土のよさを発見してもらえることを願っています。

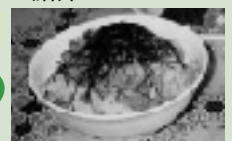
また、校内では給食委員会が食事のバランスについての学習発表を行い、児童一人ひとりが自分自身の食生活について振り返り、食事の大切さに気づき、実践していけるように取り組んでいます。



### メニュー紹介

さつま

詫間町の郷土料理です



#### 材料(1人分)

米	60g	赤みそ	7g
麦	10g	みりん	1g
たい(チヌ)	40g	ねぎ	1g
昆布	0.5g	ごま	1g
水	10g	のり	1g
ごま	1g		

#### 作り方

たい(チヌ)を焼いて身をほぐす。  
昆布でだしをとる。  
ごまをいれる。  
だし汁・みそ・みりんと、たいの身を混ぜ合わせる。  
にいりごま・のり・ねぎを混ぜ合わせる。  
炊いたご飯に をのせて食べる。